



逢瀬川及び谷田川流域において「第2回流域水害対策検討会」を開催

- 逢瀬川流域及び谷田川流域では、「流域治水」の取組をさらに加速させることを目的に、令和4年10月17日に「第1回逢瀬川流域水害対策検討会」及び「第1回谷田川流域水害対策検討会」を開催しました。
- 合同で開催した第2回検討会では、須賀川市の釈迦堂川など、特定都市河川に係る先行事例の取組について共有を図ったほか、特定都市河川の指定要件や指定に伴う新たな許認可業務、浸水被害対策の検討手法などについて、意見交換を行い、今後の検討項目等を整理しました。
- 今後、第2回検討会における各委員の意見等を踏まえ、浸水被害の軽減効果等の検証を進め、特定都市河川の制度活用を視野に入れながら、逢瀬川及び谷田川の両流域における最適な浸水被害対策について検討を行ってまいります。

第2回検討会 開催概要

開催日：令和5年3月24日（金）

場所：郡山市上下水道局 5階大会議室及びWEB会議

出席者：(委員長)日本大学工学部 准教授 朝岡 良浩

(委員)福島大学 教授 川越 清樹

福島大学 教授 川崎 興太

郡山市、須賀川市、平田村、

国土交通省福島河川国道事務所、福島県の担当課長等

(オブザーバー)国土交通省東北地方整備局

【第2回検討会の議事内容】

- 特定都市河川の先行事例について
- 特定都市河川の指定要件・指定範囲について
- 雨水浸透阻害行為の許可事務概要等について
- 今後の検討手法等について など

【主な意見等】

- 特定都市河川の指定範囲については、現況の雨水の流れや不動産登記法に基づく14条地図の確認など、慎重に検討していく必要がある。
- 雨水浸透阻害行為により設置される雨水貯留浸透施設について、持続的に機能が確保されるようにガイドライン等を作成していく必要がある。
- 雨水浸透阻害行為に係る基準降雨の強化等について、今後、許可権者の考え等も確認しながら、具体的な検討を進めていく。

浸水被害の軽減効果の検討(案)

●想定される治水対策

- ・整備計画等に基づき、進められている河川のハード整備(堤防整備、河道掘削など)
- ・整備計画等に基づき、進められている下水道のハード整備(雨水幹線、貯留管など)
- ・水田貯留(田んぼダム)やため池、牧場貯留などの流域対策
- ・その他、「流域治水施策集」などを参考に、治水対策を検討

各治水対策の実施による浸水被害の軽減効果を検討

特定都市河川の制度活用を視野に入れ、両流域の浸水被害対策の基本方針をとりまとめ

谷田川 河川改修
逢瀬川 河川改修

田んぼダム 概要
下水道整備(雨水貯留管(ポンプ))

今後の検討手法等 (検討会資料から抜粋)



第2回検討会 開催状況